

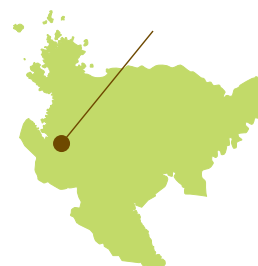
生産は小ネギに特化し女性主力で加工販売を拡大

# 有限会社伊万里グリーンファーム

※2018年3月現在

代表者名	前田 清浩	資本金	20 百万円
設立年	1991 年 3 月 27 日	売上高	150 百万円 (2017 年 3 月期)
事業内容	生産 (小ネギ)、加工・製造	経営規模	田 2.2ha、畑 0.1ha、加工施設 895.96㎡ (農産物加工品)
従事者数	27 人 (うち女性 22 人。女性内訳：役員 5 人、管理職 2 人、一般職 8 人、常勤パート 7 人)		
女性活躍支援	[女性に配慮した取組み、実績のある制度・支援] 介護休業 [女性に配慮して取組んだ環境整備] 施設設備関係 (休憩室・屋内・野外トイレ・シャワー)、重労働等の業務改善		

佐賀県伊万里市



## 経営概況

佐賀県伊万里市の有限会社伊万里グリーンファームは、小ネギの生産・加工・販売に特化した農業法人。1991年に法人を設立し、1994年から2代目の前田清浩氏が代表に就任している。「ねぎ名人前田さんの伊万里香ねぎ」の独自ブランドにより、生鮮ネギ、カットネギ、ネギ加工品の3部門を主力に事業を推進。小ネギの生産は施設栽培のみ(2.2ha・70棟)で行っている。

2003年にカットネギの販売を開始し、2008年からは乾燥ネギを使用した加工品の販売をスタ

ートした。保存ができる乾燥ネギを使うことでロスが低減し、「香ねぎ塩」「香ねぎスープ」など付加価値をつけた加工品もヒット。生産規模を拡大することなく、売上35%アップ、経常利益3倍など業績改善に大きく寄与した。

2016年7月には100%出資子会社の伊万里アグリファーム株式会社を設立した。グリーンファーム社がネギの生産を行い、加工業務をアグリファーム社へ委託。加工品の販売は、従来からの販路を持つグリーンファーム社が行う。2017年4月からは、従来よりも衛生管理を強化し、HACCP対応型の農産物加工場が新たに稼働している。

## 1. 経営者の理念・意識改革

6次産業化の取り組みにおいては、生産部門は男性中心、加工部門は女性中心の体制としている。小ネギのカット、加工、衛生管理、出荷などはきめ細やかさが要求される工程であり、従業員



の女性たちが行う作業により、高い品質が維持されている。

規格外品をいかに減らすかが従来の経営課題だったが、女性従業員からの提案を受けて、2003年からカットネギの加工販売を開始した。規格外品の活用により、廃棄ロスが2割ほど削減できたほか、生鮮ネギの出荷量の調整も可能になった。

農産加工品の新商品開発でも、普段から料理や買い物をする機会の多い女性従業員たちの情報収集力を活用し、消費者ニーズに合致した商品の開発に取り組んでいる。経営理念の「土づくり・人づくり・夢づくりにこだわります」のうち、特に人づくりにおいては、女性を中心に社員の育成を図っている。

## 2. 女性従業員の役員登用

女性従業員の家族外役員への登用を積極的に進めている点も大きな特徴。家族外役員は2006年から導入した制度で、現在は工場長、生鮮責任者、カット責任者の3名（いずれも女性）が取締役に就任している。経営数値を公開して社員の賞与額を相談するなど、経営にも参画している。役員に登用することで、従業員の責任感が増大し、代表家族の不在時でも加工部門がスムーズに運営できるなどのメリットを生んでいる。

役員3名のほか、加工責任者1名、生鮮部門とカット部門の副責任者3名もすべて女性が就任。加工部門の女性従業員が製造量を決定し、それに応じた量を生産部門が収穫するという形で作業を進めている。

## 3. 女性が働きやすい環境づくり

会社側から社員になるよう勧める形で、女性パート従業員の正社員化も積極的に進めている。責任感が高まり、働き方が変わるなど、経営面のメ

リットが生まれている。

農産物加工場の現場では、カットネギなど丁寧な手作業を必要とする工程が多く、この点でも女性の果たす役割が大きい。

作業に関しては「全員がすべての工程をこなせる」ことを基本としている。作業が固定されていると、代えがきかないため、従業員は休みづらいが、誰でもその作業ができるとなれば休みやすい。正社員には20～30代で小さい子供を持つ女性が多く、子供が熱を出したら安心して休める職場づくりを心掛けている。出産で退職した後、再び「ここで働きたい」と希望する女性も増えている。10代から70代まで、幅広い年齢層の女性が活躍している職場である。

## 4. 女性を中心とした HACCP 対応

加工品の付加価値向上と管理体制構築を目的に、新工場はHACCP専門コンサルタントの指導のもとに建設され、現在もHACCP取得に向けて取り組んでいる。HACCPチームリーダーは代表の長女である明時真菜取締役が務め、女性を中心とした社内HACCPチームが衛生管理、製造管理などのマニュアル作成や作業改善に取り組んでいる。

### 審査委員の声

一般的には家族経営が中心の同族企業にあって、従業員から登用した取締役が3名、それが全員女性というのは、珍しいケースだと思う。平均勤続年数は長く、事情により一度退職したのち復帰する従業員が複数名いることから、働きやすい職場なのだろう。各人の能力に応じた責任を持たせることで個々の能力を引き出すことに成功していると感じられる。新しい加工場が完成し、新たな展開の中でも女性のさらなる活躍が期待される。